

2025 年 11 月 4 日

大韓航空が A350F の新規顧客に

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）はこのほど、大韓航空が既存の A350-1000 の 7 機の発注分を A350F 貨物機に切り替えたことを発表しました。これにより大韓航空は A350F の新規顧客となりました。

A350F はメインデッキに大型の貨物ドアを備え、胴体の長さや容量は業界標準のパレットおよびコンテナ貨物輸送に最適化されています。機体の 70% 以上に最先端の材料を使用するため、競合機より離陸重量を 46 トン軽量化しています。さらに、A350F は 2027 年に施行される ICAO の CO₂ 排出基準にも対応する新世代貨物機です。

現在開発中の A350F は、最大 111 トンのペイロードで、最大 4,700 海里（8,700 キロ）を飛行することができます。最新のロールス・ロイス社製「Trent-XWB97」エンジンを搭載し、旧世代の競合機と比較して燃料消費量と二酸化炭素排出量を最大 40% 削減します。

2025 年 9 月末時点で A350 ファミリーは世界の 63 社から 1,445 機の受注を獲得。このうち A350F は 65 機の受注を 10 社の貨物航空会社と 1 社のリース会社から得ています。

大韓航空は合計 33 機の A350 を発注しています。今回の発注切り替えにより、その内訳は A350-1000 機が 20 機、A350F 機が 7 機、A350-900 機が 6 機となり、このうち 2 機の A350-900 が納入されています。また、同社は 39 機の A321neo も発注しています。

Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子
03-5775-0133
utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博
03-5775-0129
takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com